



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.159 2016 August

今月の記事

Top News

- 法人統合記念式典・祝賀会を開催1
- 平成28年度大学質保証フォーラム「質保証、だれが何をどうするか」を開催2

施設費貸付・交付事業

- 「国立大学附属病院における決算資料から見る経営判断の指標等に関する説明会」を開催3

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

- 「キャンパス・アジア」モニタリング実施にかかる日韓実務者会合の開催4
- 「高等教育に関する質保証関係用語集」のオンライン版を公開4

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係
機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧について

- 平成28年度版を当機構ウェブサイトに掲載5

調査研究

- 「我が国における大学教育の分野別質保証の在り方に関する調査研究 報告書」(平成28年3月)を公表6

機構の窓

- 会議の開催状況7
- 委員の異動7

主要行事日程

- Schedule (8月~10月)8

TOP NEWS

○法人統合記念式典・祝賀会を開催

当機構は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 法人統合記念式典及び祝賀会を、平成 28 年8月4日（木）に学術総合センターにて開催しました。

この式典及び祝賀会は、独立行政法人大学評価・学位授与機構と独立行政法人国立大学財務・経営センターが、平成 28 年4月1日に統合し、新法人となったことを記念して開催したもので、文部科学省、国公立大学、国立高等専門学校機構、省庁大学校、大学関係団体、独立行政法人及び機構等の関係者約 180 名が出席し、盛大に行われました。

一橋講堂で挙行された式典では、福田秀樹 大学改革支援・学位授与機構長が、当機構の各事業の現状と、今後、高等教育の質の向上の支援機能の更なる強化に取り組んでいく決意を述べました。

続いて、前川喜平 文部科学事務次官、里見進 国立大学協会会長・東北大学総長、谷口功 国立高等専門学校機構理事長による祝辞の後、祝電披露が行われました。

式典に引き続き、中会議場にて行われた祝賀会では、元大学評価・学位授与機構長 平野眞一 上海交通大学致远講席教授・学長特別顧問・平野材料創新研究所長、元国立大学財務・経営センター理事長 豊田長康 鈴鹿医療科学大学学長による挨拶の後、前大学評価・学位授与機構長 野上智行 広島大学監事と前国立大学財務・経営センター理事長 高井陸雄 東京工業大学特任教授による乾杯の発声で幕を開け、懇談が行われました。

懇談の間には、当機構が連携協力の覚書を締結している海外の質保証機関のうち、英国高等教育質保証機構（QAA）理事会会長クリス・バンクス氏及び韓国大学教育協議会・大学評価院（KUAI）院長チェ・ジュンリョル氏から統合を記念して贈られたビデオメッセージが上映されました。

多くの関係者が集まった式典及び祝賀会は、機構に対する期待や意見を伺う貴重な機会となるとともに、出席者の近況報告や情報交換を行う場ともなり、和やかな雰囲気の中、親睦を深めて盛況のうちに終了しました。



式典会場の様子



式典で式辞を述べる福田機構長



祝賀会会場の様子



野上前機構長、高井前理事長による乾杯

○平成 28 年度大学質保証フォーラム「質保証、だれが何をどうするか」を開催

当機構は、8月5日（金）に平成28年度大学質保証フォーラム「質保証、だれが何をどうするか」を公益財団法人大学基準協会、公益財団法人日本高等教育評価機構、一般財団法人短期大学基準協会および認証評価機関連絡協議会の後援のもと、一橋講堂にて開催しました。当日は、高等教育関係者を中心とする400名を超える参加者がありました。

本年度のフォーラムでは、質保証の「主体」である大学の役割にあらためて注目し、大学みずからによるいわゆる内部質保証と、質保証機関による第三者評価の有機的な組み合わせ方について、国内外での事例をもとに議論を深めていくことを目的として開催されました。

福田秀樹機構長の開会挨拶、永田敬研究開発部主幹の趣旨説明に続き、プログラム前半では、カリフォルニア大学ロサンゼルス校名誉教授である John N.Hawkins 氏及び欧州高等教育質保証協会(ENQA)会長である Padraig Walsh 氏よりそれぞれ基調講演がありました。

Hawkins 氏からは、講演の中でアメリカにおける評価文化の歴史について概観した後、カリフォルニア大学ロサンゼルス校の内部質保証の事例について紹介が行われました。引き続き、Walsh 氏からは、「欧州高等教育圏における質保証の基準とガイドライン（ESG）」の沿革、アイルランド質保証機構の事例を基に、外部質保証と内部質保証をどのようにバランスを取るべきか等について発表がありました。

プログラム後半にはパネルディスカッションを2部構成で実施しました。第1部「大学による質保証」では、武市正人研究開発部長の進行のもと、東洋大学副学長の神田雄一氏、北九州市立大学副学長の松尾太加志氏及び佐賀大学大学院工学系研究科教授の皆本晃弥氏より、各所属機関における質保証に係る取組みに関して発表がなされました。続く第2部「だれが何をどうするか」では、森利枝研究開発部教授の進行のもと、先の三名に加え、基調講演者、同志社大学社会学部教授の山田礼子氏及び武市研究開発部長を交え、活発な議論が展開されました。高等教育機関の多様な取組を評価機関はどのようにとらえるべきか、高等教育機関の自己点検評価をどのように質保証につなげていくべきか等、今後の質保証に関して示唆に富む意見が多数寄せられ、岡本和夫理事の閉会の挨拶のもと、盛況のうちに幕を閉じました。

なお、当日の配布資料については当機構[ウェブページ](#)よりダウンロードできますので、是非ご覧ください。



福田機構長による開会挨拶



パネルディスカッション第1部の様子



パネルディスカッション第2部の様子

施設費貸付・交付事業

○「国立大学附属病院における決算資料から見る経営判断の指標等に関する説明会」を開催

「国立大学附属病院における決算資料から見る経営判断の指標等に関する説明会」を東京会場（7月27日）、岡山会場（7月29日）、名古屋会場（8月1日）の3ヶ所で開催致しました。

同説明会は、旧国立大学財務・経営センターに設置された「国立大学附属病院の財務・経営分析の在り方WG（座長：東京大学医学部附属病院塩崎事務部長）」において平成28年3月に取りまとめられた「国立大学附属病院における決算資料から見る経営判断の指標等に関する報告書」に示されている指標の理解を図り、もって国立大学病院の経営改善に資することを目的として開催されました。

各大学の病院経営企画担当者及び財務担当者など3会場合計で200名の参加があり、文部科学省の挨拶の後、前半は各指標に関する解説、後半は実際に指標を用いて分析を行った大学の実例報告を行い、参加者を交えたディスカッションを行いました。

参加者からは、指標の読み取り方に関する質問や、大学本部と病院の連携が重要であると気付いたとの感想が寄せられるなど有意義な説明会となり、国立大学病院の経営分析に係わる職員にとって貴重な機会となりました。



森理事による開会挨拶【東京会場】



文部科学省高等教育局医学教育課
大学病院支援室佐藤室長による挨拶【東京会場】



東京大学決算課青木専門員による指標の説明
【名古屋会場】



長崎大学近藤病院企画課長による
長崎大学病院での実例紹介【岡山会場】

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○「キャンパス・アジア」モニタリング実施にかかる日韓実務者会合の開催

平成28年7月20日（水）に当機構竹橋オフィスにおいて、「キャンパス・アジア」モニタリングに関する日韓実務者会合を開催しました。当機構からは、岡本理事、土屋教授及び国際課職員の計6名、韓国大学教育協議会（KCUE）からは関係者が2名参加しました。

当日の会合では昨年日中韓3カ国で実施したモニタリングの成果に関する共同報告書（案）の確認、共同ガイドラインに盛り込む事項、今年秋に発足予定のキャンパス・アジア第二モードのモニタリング手法等について協議しました。協議結果に基づき、今後、日中韓で共同報告書（案）に加筆修正を加えた後、共同モニタリング委員会に諮るなどの、同報告書公表に向けたプロセスや、共同ガイドライン及び第二モードのモニタリングにおける協議の継続について日韓間で合意

なお、他用務のため今回の会合を欠席した中国教育部高等教育教學評価センター（HEEC）側には、後日、書面にて協議を行い、日韓会合の結果についても同意を得ました。



議論の様子（7月20日）

○「高等教育に関する質保証関係用語集」のオンライン版を公開

日本の高等教育制度、質保証制度などに関する基本的用語の定義や解釈を日英両言語で収録した「高等教育に関する質保証関係用語集（第4版）」のオンライン版を公開しました。

今回当機構のウェブサイトに掲載したオンライン版は、従来のPDF版に比べ、新たに検索機能が加わったほか、用語解説中のリンク機能により、関係法令等へアクセスがしやすくなりました。

また、スマートフォンやタブレット端末に対応するレスポンスデザインになっておりますので、外出先等で用語を調べたい時など便利にお使いいただけます。

評価や国際交流等の業務、FD・SD活動の実施や、我が国の高等教育の質保証に関する理解を深めるにあたり、皆様にお役立ていただけましたら幸いです。



「高等教育に関する質保証関係用語集」のオンライン版、PDF 版へのアクセスは[こちら](#)から
オンライン版用語集への直接リンクは[こちら](#)から

「高等教育に関する質保証関係用語集」
オンライン版

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧について

○平成 28 年度版を当機構ウェブサイトに掲載

当機構では、短期大学や高等専門学校を卒業、あるいは一定の要件を満たす専修学校専門課程を修了するなど、既に高等教育機関において一定の学習を修めた後に、さらに大学の科目等履修生制度などを利用して高等教育レベルの学習を積み上げた方に対して、審査の上で学士の学位を授与しています。

また、その学士の学位取得に必要な高等教育レベルの学習機会を拡大するために、短期大学や高等専門学校に置かれた専攻科のうち機構が定める要件を満たすものについては、当該専攻科において修得した単位が、大学の科目等履修生制度などを利用して修得する単位と同等のものとして使用することができる専攻科として認定しています。（認定専攻科）

本年度においても例年同様、認定専攻科において単位を修得しようとする方の参考としていただくため、短期大学や高等専門学校の認定専攻科の平成 29 年度入学者に関する学生募集の概要を取りまとめ、当機構の[ウェブサイト](#)で公表しましたのでご利用ください。

調査研究

○「我が国における大学教育の分野別質保証の在り方に関する調査研究 報告書」(平成28年3月)を公表

研究開発部では、平成27年(2015)度文部科学省「先導的大学改革推進委託事業」にて「我が国における大学教育の分野別質保証の在り方に関する調査研究」を行い、報告書をウェブサイトでも公表いたしました。(公表ページは[こちら](#)から。)

我が国では、平成16年(2004)度から「機関別認証評価制度」が導入され、「大学」を単位とした質保証の取り組みが進められました。一方で、具体的な教育内容や学習成果を確認しうる分野ごとの質保証は、「専門職大学院認証評価」をはじめ、工学系、医・歯・薬・看護・獣医等の保健分野での第三者評価に限定され、それ以外の各分野で広く実施されている状況ではありません。

本調査研究では、分野別質保証の現状と課題を整理し、その在り方や体制整備の可能性を実証的に検討しました。具体的には、アカデミックな側面から質保証についての諸活動を展開しうる存在として「学協会」(有効回答数729団体、回答率36.1%)を、社会(労働市場)の側面からの質保証に関与する存在として「資格・専門職団体」(有効回答数99団体、回答率37.1%)を対象に、質保証の取り組み状況及び必要性等の認識を把握するアンケート調査を実施し、分析を行いました。加えて、アンケート調査から得られた特徴的な事例を抽出し、ヒアリング調査を実施しました。また、大学評価の知見を有する副学長や学部長等の大学教員の方々による、今後の「分野別質保証」の実施の在り方に関する検討会を開催しました。

本調査研究で得られた結果をいくつか紹介しますと、「学協会」および「資格・専門職団体」とともに評価や認定などの取り組みは現時点では多くはありませんでした。しかし、育成すべき能力の明文化や、独自資格の授与等の取り組みは、人文学・社会科学の分野を含めて見られました。また、質保証の必要性の認識も全体的には高くありませんが、分野によって、専門職業や資格に必要な教育の質保証の必要性、教育の多様性の尊重、学生や労働者の国内外の異動に伴う質保証の必要性について異なる考えがあることが示されました。このことは、分野別質保証を一律に制度設計することは適切でないことを示唆しています。

この結果を踏まえて、本報告書では、今後の「分野別質保証」をめぐって実施枠組みを提言しています。大学自身の責任として「内部質保証」を展開していく中で、分野ごとの外部の参照情報の活用や外部評価の目が入る仕組みを必要となること、それを基礎に「分野別質保証」と「機関別認証評価」等との関係を検討すること、等を挙げています。

機構の窓

○会議の開催状況

- ・大学ポートレート運営会議

第5回 平成28年7月12日（火）

議事

- （１）今後の大学ポートレートの改善に向けた取組状況について
- （２）大学ポートレートの国際発信について
- （３）認証評価機関連絡協議会からの要望への対応について
- （４）その他

○委員の異動

- ・国立大学教育研究評価委員会委員

国立大学教育研究評価委員会委員に、新たに2人の方々が就任されました。

国立大学教育研究評価委員会17人

新任2人の任期は平成28年7月1日～平成29年6月30日

氏 名	現 職	氏 名	現 職
池 上 久 雄	新コスモス電機株式会社 社外監査役 東京学芸大学客員教授	○杉 山 武 彦	高速道路調査会理事長
大 沢 陽一郎	株式会社読売新聞東京本社 論説委員	鈴 木 典比古	大学基準協会参与 国際教養大学理事長・学長
戒 能 民 江	お茶の水女子大学名誉教授	関 本 照 夫	東京大学名誉教授
◎梶 山 千 里	福岡女子大学理事長・学長	戸 谷 賢 司	大学入試センター参与 秀明大学特任教授
木 村 靖 二	東京大学名誉教授	豊 田 長 康	鈴鹿医療科学大学長
河 野 通 方	東京大学名誉教授	中 島 秀 之	東京大学特任教授
小 畑 秀 文	学校法人嘉悦学園理事 かえつ有明中・高等学校長	野 嶋 佐由美	高知県立大学副学長
相 良 憲 昭	日本高等教育評価機構副理 事長	福 山 秀 敏	東京理科大学学長特別補佐
佐々木 隆 生	北星学園大学教授		

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

主要行事日程

○ Schedule

8月

日	行事名	担当課
5日	大学質保証フォーラム	国際課
19日	学位審査会（平成 28 年度第 2 回）	学位審査課
22日	高等専門学校機関別認証評価に関する説明会	評価支援課
22日	平成 29 年度に実施する高等専門学校機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会	評価支援課

9月

日	行事名	担当課
2日	学位記伝達式・講評	学位審査課
13日～ 10月6日	平成 28 年度 10 月期学位授与電子申請受付期間	学位審査課
14日	大学機関別認証評価委員会（第 2 回）	評価支援課
23日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第 2 回）	評価支援課

10月

日	行事名	担当課
1日～7日	平成 28 年度 10 月期学位授与郵送申請受付期間	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構